

第3回 幼保一元化城下地区協議会

と き：令和3年12月22日（水）午後7時00分～

と ころ：宍粟市役所 4階会議室

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>みなさんこんばんは。</p> <p>本日は、それぞれお忙しい中、第3回となります幼保一元化城下地区協議会をご案内しましたところ、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたのでただいまから第3回宍粟市幼保一元化城下地区協議会を開会させていただきます。座って失礼いたします。</p> <p>この会議につきましてはスムーズな進行と、正確な会議記録を残すことを目的として、マイクシステムを使用させていただきます。</p> <p>発言者は挙手をしていただき司会者の指名を受けた後スピーカ一台の中心にありますスイッチを押してから発言をしてください。発言が終わりましたらスイッチを再び押してマイクを切ってください。ご協力をお願いいたします。</p> <p>次に本日の会議の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し進めたいと考えております。そこで本日の予定についてですが、本日はおおむね2時間、午後9時ごろを目途に終了とさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、お手元にあります次第に沿って進めさせていただきます。よろしく願い申し上げます。</p> <p>2、報告事項（1）前回会議録の確認について。事務局より説明いたします。</p>
事務局	<p>失礼します。前回、12月13日月曜日に、市役所で開催をしました第2回幼保一元化城下地区協議会の会議録につきまして、本日の協議会のご案内と一緒にご自宅へ送付をさせていただいておりました。その際、修正がある場合には、昨日、12月21日火曜日、午後5時までに、事務局へお知らせをくださいということをお願いをしておりましたが、事務局への修正の連絡はございませんでした。そこで前回の会議録につきましては、ご承認いただいたということでしょうか。</p>
会場	<p>はい。</p>
事務局	<p>それでは、この場で前回会議録を、ご承認をいただきましたので、公式の会議録として保存をさせていただくとともに、市のホームページにて公開をさせていただきたいと考えております。なお、議事録の公開に当たりましては、発言者の欄につきましては、会長、副会長、委員というような呼称で、また私どもは事務局として個人が特定されないように修正を行い、公表をさ</p>

	<p>せていただきますので、その点についてもご了承をお願いします。事務局からは以上です。</p>
事務局	<p>それでは（１）前回会議録の確認についてでありました。続いて、（２）通学路の資料修正の報告であります。事務局より説明をいたします。</p>
事務局	<p>前回の協議会におきまして、宿題とさせていただいております２点について報告をさせていただきます。（２）通学路の資料修正についてでありますけれども、前回の協議会で通園途上の安全性の確保に係る城東保育所周辺の朝の小学生の通学の様子について、資料に記載が漏れておりまして、追記するようにご意見がありました。事務局で改めて確認を行ったところ、船元自治会の登校班が９名と、千本屋自治会の登校班１３名が、７時３０分から７時４０分の時間帯におきまして、城東保育所周辺の信号のない県道交差点を横断している状況が確認出来ましたので、お手元の資料に追記をさせていただいております。前回の資料と差し替えをお願いしたいと考えております。</p> <p>またこの交差点では、城東保育所の保護者が西方向から１８台、南方向から１２台、北方向から２台の送迎がありまして、朝７時３０分から、８時までの時間帯については、全体の約２割の方が子どもの送迎を行っておられますので、同時刻に、城東保育所を利用する保護者の正確な数まではちょっと把握出来ておりませんが、数台の送迎車両が、登校班の道路横断と、時間帯が重なっていると推測されます。</p> <p>次に、（３）夕方のお迎え時の様子と、中学校のチャイムについて、こちらの方は城下幼稚園の付近に対するご意見です。</p> <p>まず、夕方のお迎え時の様子についてですが、城東保育所のお迎えにつきましましては、現在、午後４時台のお迎えが全体の約３０％、午後５時から５時３０分のお迎えが全体の約４５％、午後５時３０分から午後６時までのお迎えが約２０％、そして残りの５％が午後６時以降という状況となっております。</p> <p>その一方で、城下小学校の下校時間についてですが、月曜日から金曜日まで、曜日や学年ごとで、集団下校の時間が違うのですが、遅くとも、１５時４５分には下校をしておりますので、先ほどの保育所のお迎えが始まるのが、１６時以降でありますので、小学校の下校時刻についてはほぼ課題はないように感じております。</p> <p>一方で、山崎南中学校の下校時間についてです。４月の入学式、始業式から９月１５日までの期間については、部活動終了後の下校時間が１８時下校なので、そこについてはほぼ、重なりはなくなりますが、問題は９月１５日から１０月末までの期間で、この時間帯は、すごく日が暮れるのが早いのでちょっと時間変わるんですけど、明けまして、１月１６日から２月２８日までの期間につきまして、部活動を終えての下校時刻が１７時から１７時３０分となっております。</p> <p>保育所の保護者の送迎のうち、約６５％の方が、その時間帯に被っておりますので、朝の登校時間に合わせてこの件については前回ご報告をさせていただいておりますが、そこに合わせまして、夕方の下校時間についても、何らかの安全対策を検討する必要があることが分かりましたので、ここで追加を</p>

	<p>して報告をさせていただきます。</p> <p>次に、こども園のお昼寝タイムに係る中学校のチャイムについてですが、現在の城東保育所では、13時から15時の間の約2時間が保育所のお昼寝タイムとなっております。この時間帯に流れる中学校のチャイムについてですが、13時10分のお昼休み、終わりのお知らせをするチャイムから14時15分の6時間目開始のチャイムまで、合計4回のチャイムが流れております。しかしながら、幼稚園の保育室、室内では、特に意識をして聞かなければ、そのチャイムが鳴っているってということにも気付かないような程度のものでありますので、前回心配をされておりました、児童のお昼寝に、このチャイムが問題あるというようなことは余り考えなくてもいいのかなというふうに、私ども、聞き取り調査をさせていただいた結果として、ご報告をさせていただきたいと思っております。事務局からの報告は以上です。</p>
事務局	<p>報告事項として、前回の会議を受けまして夕方のお迎え時の様子と中学校のチャイムについて事務局から説明をさせていただきました。この後、3協議事項となります。ここからの進行につきましては、会長の方で進めていただきたくよろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは改めまして皆さんこんばんは。本日は、3回目となります。2回目について意見交換、討議をしていただきたいと思っております。</p> <p>前回も申しましたが、それぞれの考えに基づいての、意見交換、討議ですから、意見の対立は当然あるかと思っておりますが、後に遺恨を残すようなことなく、城下は一つという気持ちを根底に持っていて、穏やかで真摯な意見交換、討議を改めて切にお願いしまして、始めの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。座って進行させていただきます。</p> <p>協議に入る前に、本日も再確認しておきたいんですが、事務局からもありましたが、2時間を目途に、9時には閉会挨拶ができ、各ご家庭に帰っていただけるようにしたいと思います。ご了承とご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>また、今日、3回目で初めて傍聴の皆さんが居られるんですけど、傍聴の皆様には大変申し訳ないんですが、この後、意見交換に入ります。その意見交換のところから、1回目の協議の中で、意見が自由に出しやすい雰囲気を作るために、意見交換の場から非公開で協議を進めさせていただくということを決定しておりますので、大変申し訳ないんですけども、ここで、せっかく来ていただいたんですけども、この場からはご退席をお願いしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。申し訳ありません。</p> <p>《傍聴人退出》</p> <p>それでは、本日の協議を始めます。まず最初に、先ほどの事務局からの説明に対して何かご質問やご意見ありませんか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>それでは、前回の意見、つけ足しであったり、前回から新たな疑問なり質</p>

	<p>問なりが出てきているという委員の皆さんがありましたら、そのことを今この場で述べていただけたらと思います。質問。ございませんか。</p> <p>はい。どうぞ。</p> <p>すいません。前回の時に、皆さんの思っていること、ずっと言われた中でね、城東保育所が古くなってるっていう話があったじゃないですか。私もずっと初めの時に言わせていただいたように20年ぐらい、毎年通ってるんで、もちろん分かるんです。戸原もそうでしたし、山崎幼稚園も壁が落ちたりしてたんで、非常に子どもが危ないと、早く直してくださいって言っても、こども園を作るから、ちょっと待ってっていうことで、みんなストップがかかっていたんですよね、それもよく分かるんですけど、城東保育所が古くなっているから城東保育所のとこに建ててくれというのはまた違うんですよね。それで、何か聞いていると、城東保育所が古くなっているから、早く建ててくれは分かるんです。本当によく分かる。私も同じような考えなんですけど、だからといって城東保育所のところに建てるといのは、またなんかちょっと違うのかな。そこは分けて考えないと駄目なのかなと。ちょっと思ったんです。</p> <p>何か、皆さんの言われる中で城東保育所が古くなっているっていう意見がたくさん出てきて、本当に私もそう思ってるんで、一刻も早く、それを解消してあげたいなと思っています。</p> <p>それから、もう1点だけ。今日、城下幼稚園の方と話しをすることがあって、来年4月から、大きい組さん6人なんです。それで、一応2人ですよ、新しく入りたくなっている小さい組さん。2人申込みがあると。でも2人だったらどうしようって迷ってらっしゃるっておっしゃるんで、ということは、今年1年は城下幼稚園として存続するんだけど、来年5人以下になったら、休園になるんですよ。可能性ありますよね。一応そうですね。規約っていうか基準だと。ということは、城下幼稚園の園舎が空いちゃう可能性があるんですよ。だったら、仮校舎は要らないということもあるんですよ可能性なんですけど。何かそんな話を聞いてちょっと寂しいなと思いつつ、そういうこともあるんだなっていう、ちょっと今日、聞いたんで、皆さんに知っておいていただきたいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>すいません。城東保育所が古いから城東のところに建ててくれっていう訳じゃなくて、早く立つのが城東保育所のところと比べるとね。どっちが先に建つってなった時に、城下幼稚園はちょっと年数がもうちょっとかかる。でも早く建つんだったら城東のところに建つんだったら、同じ建てるんだったら早く建ててほしいなっていう、その中で城東保育所の場所がいいっていう話のつもりで言わせてもらったんですけど、ただね、この7番まである利便性なり、なんなりっていう中で、やっぱり1番は安全面なんですよ。小学生の子も中学生の子も、保育園、こども園の子もっていう中でね、それで、ハザードマップの話も、1回目の時に出たと思うんですけど、それを考えて</p>

事務局	<p>も、やっぱり、色々な考えはあると思うんやけど、今までどうもないから、これから先も大丈夫やって取るのか、今も、全国で色んなことがあるから、それも考えて、建てるのかっていうところもすると私はそういう、何か災害があったらっていうことを考えて、やっぱり城東の方が安全やなとも思うし、3mぐらいっていう話だったんちゃうんかな。ひどいとき、違いましたっけ。</p> <p>ハザードマップについて、ちょっと失礼します。こちらが城下幼稚園の場所になります。ここが、100年に1回に想定されるハザードマップが、0.5m未満の区域になります。城東保育所につきましても、同じ0.5m未満の区域になるんですけども、それが1000年に1回の大災害が来るという場合になりますと、城東保育所も城下幼稚園も、0.5mから3mないしは3mから5mの区域になるので、その場所、そこだけをとりますとハザードマップ上は同じ条件になります。</p> <p>ただ、避難所の部分で、城下小学校の体育館が避難所になっているんですが、ここの部分については、0.5mから3mっていうところがありますが、城下幼稚園も城東保育所も、城下小学校の体育館が避難所になっておりますので、ここのハザードマップだけを見ると、必ずしもこちらがということではないかなと思います。</p>
委員	<p>すいません。私の勘違いでした。ただ、その学校に行っている子たちとの安全性はやっぱり考えると、お迎えの時間に60何%の人が、その時間に通るとかっていうその安全対策は、どういうふうに考えるのかなっていうところはあるので、それをやっぱりすごく考えないといけないと思うんです。城下幼稚園のところに建てるとなると。でもそれを城東のところ建てると、その時間に下校時間と重なるっていうことが、人数が少なくなるから、そこまで何っていうんかな、すごい危なくないんじゃないかなっていうことを考えると、やっぱりそこが1番だと、やっぱり大事なんじゃないかなあと思います。</p>
委員	<p>おっしゃることはよく分かるんですけど、確率の問題じゃないですか。</p> <p>だから、前回誰かが、100%安全やでっていう話をされたことがあるんやけど、そこはもう確率の問題になってきて、当然、事務局の方も、やっぱり完全に安全なようにって、どちらになっても対策を取られると思うんですよ。それで、私は、そこもちろん1番皆さんがね、あの保護者の人が1番気にされているのは当たり前の話で、そこが1番重要だと思うけど、将来を担う子どもが、どうやって育っていくかが大切だなと思うんですよね。それで、前回、中学校とね、幼稚園が手振ってあれするんやっていうことを言いましたけど、皆さん、多分そういう姿を見られてないと思うんですよね。まだ子どもさんが小さかったりしたら、やっぱりね、幼稚園の保護者の方が、お兄ちゃんお姉ちゃんに憧れを抱くんだっていう話もあったけど、中学生とか小学生にもすごく影響があるんですよ、良い影響があるんですよ。</p> <p>本当にね、中学生がやっぱりその小さい子と触れ合うっていうのは、本当にいい影響があって、それは、教育関係者の先生も皆さんおっしゃるんで</p>

委員

す。やっぱり山崎南中学校に勤務された先生とか、城下幼稚園とか、城下小学校に勤務された先生、みんなおっしゃいます。やっぱりここは近くにあっ
ていいなっていう、その教育の面っていうのは非常に大きいと思うんですよ
ね。もちろん安全性は1番大切だと思うんです。おっしゃるとおり本当にそ
うです。事故が起きてからでは遅いんだと。それは本当にそうなんです。だ
から、そこに対策を取れるんやったら、城東でも城下でも、ほぼ100%事故が
起きないようにするのは、それはもうこちらがやってもらわないといけない
ことだと思うんですよね。

だから、今の現状を見て、ここが危ないからっていうと、またちょっと違
うのかなと。それで、やっぱりその子どもの成長のことを考えていかないと、
それも大きな要因になるのかなと私は思うんです。やっぱりそういうの
を見ていると。

今もう子どもが少ないので、やっぱり大きい子は1回りぐらい小さい子を見
るっていうのがないので、出来たらそういう雰囲気のとこに建てたらいいな
と思ってます。

すいません。こんばんは。前回に引き続きですね、懸念することを私なり
にですね、お話をしたいなと思います。

アンケート等でもですね、どちらでもいいっていう方が結構いらっしやっ
て、その中で、やっぱり1番安全性ということ、しっかりと皆さんおっしゃ
っている中でですね、安全性っていうことをあんまり抽象的に考え過ぎるの
は、非常に危険かなと思います。登下校ですね、大勢の人たちが集中する場
所に、100人からのですね、車でお迎えの方がそこに集中するということ
を想像した時に、その対策を取るとか、色んなことを言って何かバラ色
のようなことが起きるのであれば、それはいいかもわかりませんが、そ
ういう危険なところにですね、敢えて持っていくということ自体が
ですね、非常に怖いことかなと思います。今、55名の城東保育所の保護
者の子どもさんが通ってらっしやっ、そこは車で通ってらっしやっ
てですね、55名の方が今そういうふうにご利用されています。車で基本
的には来られるっていうことが、ずっと長年続いています。そういう自動
車がですね、今、小学生、中学生が登下校をされているところに、新
たに加わるとなった時に、本当にですね、安全対策が取れるのか。ガ
ードレール、それと境界ブロック、カラー舗装ですか、それと道路を
拡幅したとしてもですね、条件は何も変わりません。

そういう、あえて危険なところに、それを置くっていうことをした時に、
どうしても中学生とか小学生は、実際によく教習の時に聞くこと
があると思うんですけれども、子どもの視野というのは、大人に比べて
ですね、大体70%ぐらいって言われています。そういう意味でいうと、
小学生って、そういう視野も狭いですし、中学生なんて特にですね、
やっぱり友達が向こうに居るとなると、自分も経験ありますけれど、
そっちに集中してですね、飛び出してしまおうということもあります。

それと、部活動の終わった後ですね、やっぱり暗がり交通のルールを守
るというのは当たり前なんですが、それも本当の意味で個人個人が
できるかっていうと非常に不安です。そういうところに、保護者が
ですね、車で乗り

	<p>つけるということになった時に、非常に危険があつて、本当にちょっとした不注意です、人生が大変なことになるということが、敢えてそこに集中する場所に作るということ、本当に考えた時にですね、安全対策と言われていることが、本当にできるのかという。今、城東保育所はですね、そういう意味でいうと、集まってくるという登下校の時間というのは確かにありますが、それはほんの一部の人たちで、そこに集中するということではありません。そういうことを考えた時に、危険度は雲泥の差なんです。そこところはしっかりとですね、考えないと、私自身は安全対策という簡単な話で終わってはいけないんじゃないかっていうふうに思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。ただ今お三方が、前回の意見交換を受けて、また新たに付け足しての意見を述べていただいているところなんですけれども、その前に、前回までの中で、疑問に思われていること、あるいは質問されたいことというのが、まだちょっと、うかがえてないんですけれども、もしあれば今お願いして、それから更に意見を交換していきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>実際に、城東保育所に建った場合、城下幼稚園の方に建った場合、それぞれ建たなかった方の建物だったりというのはどうなるか、何か事務局の方で決まっていることとかがありますか。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局どうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>その他の項目になるかと思うんですけれども、これまで説明させていただいたように、城東保育所の施設は非常に老朽化が進んでおりますので、その施設を活用していくというのは難しいと考えております。</p> <p>また、城下幼稚園は、平成になってからの建物ですので、活用ができるのではないかと考えております。これまで自治会長会や保護者説明会にも触れたこともあります。一義的なことではないので、協議会の2回の中では発言しておりませんが、城下幼稚園であれば、このような活用が可能ではないかということをお聞きいただきたらと思います。</p> <p>市として、当然今使っておりますので、計画があるわけではないんですけれども、過去に説明したことを報告させていただきます。</p> <p>まず城下幼稚園というのは、遊戯室1つと、それからお部屋が3つあります。そういったところで、使用しなくなった場合、活用の可能性として例えばですね、山崎町の南部の生涯学習の拠点として考えられるのではないかと1つ考えます。それは、山崎町域には学遊館という生涯学習センターがありますけれども、城下は非常に人口が増えていたり、子どもさんの数も今、増えているところの中で、この城下地区に、山崎の南部の生涯学習の拠点ということで、高齢者も含めまして、そういったところで集まっていたような施設に活用できるのではないかと、それから、子育て支援の機能も考えられるのではないかと思います。</p> <p>親子が自由に訪れて遊んだり、他のお子さんと交流したりとか、子育て相</p>

	<p>談をできるような常設の場所というのは、今、山崎町にはございません。学遊館にしても、その教室で活動がある時に、研修室を使ってという形になるので、市の北部には、常設の場所がありますけれども、そういったことに使えるのではないかと、以前から考えております。</p> <p>それから、城下幼稚園付近のメリットは、やはり城の子公園だと思うんですね。都市公園として城の子公園がございますので、よく意見として、なかなか土日とか、雨の降る日に、親子で連れて行く場所がないという意見を聞くことがあります。雨天の日とか土日も含めて、城の子公園で遊んだり、雨であれば、暑ければ、その城下幼稚園の施設が、何か活用したところで、就学前の子どもさんだけでなく、小学生とかも含めた幅広い年代層の拠点として使えるのではないかとというふうに思っています。</p> <p>それから、小学校と隣接しておりますので、放課後の子どもたちの居場所。もちろん学童保育はあるんですけども、そうではない学童保育に申し込まれていないお子さんでも、自由に友達同士で遊んだり、本で親しんだり、これも子育て支援の施設なのかもしれないけれども、そういった就学前に限らず、もう少し大きな世代の子どもさんであったり、もちろん親子だったり、そういったところの施設として活用できるのではないかと思っています。もちろん、子育てのサークル活動とか、若いお母さん方のグループが、そこに行ってサークル活動などもできるのではないかとというふうに、以前から考えています。</p> <p>それから、当然あの地域の拠点にもなるかなと、城下だけでなく、宍粟市全体として考え、山崎全体として考えていったら良いと思うんですけども、地域の高齢者の方にとっても、子どもたちと交流をする場とか、ある意味、閉じこもりがちな高齢者の方の居場所であったり、場合によっては分からないんですけど、地域が運営する子ども食堂とか、先ほど言ったように遊戯室1つと、教室が3つありますので、グラウンドも広いですので、そういった活用ができれば、城の子公園があり小学校がありということで、また、城下地域にとっても、山崎町全体にとっても良いのではないかとというようなことは、可能性として考えられると思います。</p>
会長	はい。よろしいですか。
委員	<p>はい。ありがとうございます。続けて、大丈夫ですか。</p> <p>それと、またちょっと別の形でどちらに建ったとしても、民営化というお話が基本だとは思いますが、そういった際に今、城下幼稚園さんと城下小学校、山崎南中学校と連携をされている数が多いって、前回の会議ではあったと思うんですけども、いざ民営化になると、それが今と同じような連携を取れるかどうかというのは正直分からない話なのかなと思います。民営化、どこの組織さんがされるかは知らないし、決まってもないと思うんですけど、その組織がもちろん事務局側から、連携はしてねっていうのは絶対いくとは思いますが、城下幼稚園と今みたいに密な連携が取れるかどうかというところは正直、その組織の方の考え方1つだとは思っているので、もちろん民営化だったり、連携っていうのを否定する訳ではないですけど、今と</p>

	<p>同じ形っていうのは難しいんじゃないのかなっていうところと、それでも最低限の連携は取れるとは思いますが、そういうところで連携というところがなかなか難しい可能性もあるのかなと私自身も思います。</p> <p>それで、それに加えて今までのお話でもあった、城下幼稚園では小中学校が近いっていう利点と触れ合えるっていう利点と、城東の方が交通的には安全かなっていう、確率で言いますが確率だとしたら、絶対数は絶対、幼稚園の方に建てた方が絶対数は多いと思うんです。児童さんだったり、車だったりの絶対数が多いので、その分確率は確実に上がるかと思えます。どうしても確率の話にはなるんですけども、なので城下の連携のしやすさと、城東の安全性っていうところ、できれば良いところ取りしたいなと思って、私の中での1つの提案としては、城東保育所に建てます。もちろん難しいかもしれないんですけど、先ほど言われた地域の方の交流だったりとか、城下幼稚園の方を、地域の方の交流だったりとか子育て支援プラス、そこに保育の一環として何曜日は何歳児がそこに行くみたいな形を取れると、ふれあいもできるし、かといって送迎に関しては安全だしっていうところで両方の良い面が取れるんじゃないかなということで、私からの提案になります。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。質問と意見がありました。事務局。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。すいません。せっかくの折衷案としてのご提案だと思うんですけども、大変申し訳ないんですが、曜日によって場所を変えるというのは、1番大きな課題は給食なんです。給食設備が必要になってきますので、その点は、午前中とか午後とかを遊びに行くっていうのは、十分連携として考えられるんですが、曜日によって1日保育の場所を変えるというのは、申し訳ないんですが、経費の面、それから認可の面でも、それは難しいと思います。</p> <p>それからもう1点。連携の話なんですけど、民間の運営者によって連携ができるかどうかは未知数というところ、確かにそうなんですけれども、ただ、前回も申し上げたと思うんですが、国が定めた教育保育要領の中に、小学校との連携というものがありますので、これから教育委員会がこども園を整備する方針を立てていく中で、運営法人には必ず連携をしていただきます。今やってないことも、やっていただくという姿勢で、それは協定書という形で、約束事として必ずしますので、そうでないと小学校側の方が、今城下幼稚園と関わっている連携事業が、宙に浮いてしまいますので、その部分は必ず埋めるので、どちらの場所になっても、その部分は保証ができる、教育委員会の事業ですので、そういう観点で臨ませていただきたいというふうに思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>今、事務局から説明があったんですけど、平成23年でしたっけ、推進委員会で協議をして、ガイドラインとかあり方とか、そういうのを3つ決めたいんです。その中で、これはもう民営化前提の話じゃなかったんですけど、民営化だろうが公立だろうが、必ずこども園はこれだけのことをやってくださいっていうのを話し合っただけで決めました。それがあって、それに基づいての園</p>

<p>会長</p>	<p>のはずなんで、必ずこういうふうにしなさいっていうのは決まっているので、多分そこは安心してもらったらいと思うんです。</p> <p>それから質問なんですけど、今、例えば城下と城東の場所で比較して、例えばあの、6項目、7項目で比較が出てるんですけど、そもそも市の方が、何で城東保育所周辺だったのか、聞かせてもらったことってないんですよ。なぜ城東に建てるのかっていう理由を私らは聞かせてもらったことがないんですよ。</p> <p>今、この協議会で城下と城東を比べてっていう話は出るんやけど、そもそも何で城東なんていうとこって、誰からも、市長に聞いても、教育長に聞いても、そういう話って聞いたことないんですよ。</p> <p>たまたま、城下幼稚園のところでいいんじゃないのっていう話があったから、比較して、いや、こうですよ、城東はこうですよ、城下はこうですよっていう案が出てるんですけど、そもそも最初に令和元年4月の時に、市が、城東のところで行くっておっしゃったのは、どういう理由なんですか。それを1回聞かせていただけませんか。</p> <p>事務局よろしいですか。はいどうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。これまで、直近では令和2年11月14日に城下小学校体育館で、保護者への説明会をさせていただいています。その前にも、1月30日に城下ふれあいセンターで説明会をさせていただいています。</p> <p>それで、私どもとしましては、その説明会のおり、ここに11月14日の説明会資料があるんですけども、今回の協議会の第1回からご説明をさせていただいていますように、先ほどから出ております6項目の部分で、それぞれ比較をさせていただいて、その上で、今出ていることになるかなと思うんですが、周辺の安全性、小学校の登校路の時間帯のところ、自動車の関係ですよ。安全性の確保ということと、それから早期に整備をしたいっていうところの時間軸の話と、それから後は、コストの話と、また、最後に、城下地区だけではなくて、就労支援という形の中で、山崎地区や河東、他の地域の皆さんにも使っていただけるこども園を考えていますので、交通の利便性という話をさせていただいたと思っていますので、そういうようなところの比較でもって、城東保育所周辺が望ましいと考えて、ご提案をしたんですけども、一方で、城下幼稚園というご意見が出て、今日のこの協議会に至ったというふうに考えているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>いや、おっしゃることは分かるんですけどね、じゃ最初に、例えば、他と比べたっていう中に城下幼稚園もあり、他の地区も地域もあったということでもよろしいですか。そうじゃなくて、今、言われた中に、こういうのを検討して、城東って言ってるんだっていう話があったんですけど、それは他と比べての話なんですか。そうでもなしに、はなから城東ありきの話だったんですか。そこがちょっと分からないんですけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>そもそもの出発点は、我々教育委員会が今管理をしています、城東保育所</p>

	<p>と城下幼稚園。この、園舎、設備、土地を活用するということが、経費の面になりますけれども、市の財政に対して負担が少ないというところで、我々が管理しております園舎を軸に、議論を始めていますので、そこが使えないってということになりますと、山崎地区はそうなんですけれども、山崎幼稚園の跡地っていうのは、本当に工事車両が入れるような状況ではないので、あそこの土地はちょっと使えないっていう判断をして、今回庄能地内に新たにというような案になった訳なんですけれども、それと比較をして、城下地区については、保育所も幼稚園も、活用が可能なんではないかなってところからスタートしていますので、その点で、先ほど申し上げた、幼稚園と保育所の比較からスタートしているというところになります。</p> <p>一方で意見として、新しい総合病院の周辺の話も出ていたこともあるんですけども、それはやはり教育委員会としては、教育施設を軸に検討してきたということでもあります。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。他に質問等ございませんか。意見も混ざっても結構ですけども、質問しておきたいことはないですか。</p> <p>それでは、今、出ていることも含めて、再度、意見を求めたいと思います。どなたからでも。</p>
<p>委員</p>	<p>前回は触れたと思うんですが、城下幼稚園と城東保育所。立地場所として、この間2回、教育委員会の説明なり前回の皆さんのご意見も聞く中で、どちらか一方が圧倒的に立地条件として優れているなあとということは、私自身は強く感じられないんです。ただ、現状の中では、2つの城下地域の中でも、2つの意見がはっきり分かれているのは、私も住んでいまして自覚しています。それで、どっちかに決めるというのは、すごく抵抗感があるという中で、私なりにこの間考えたことというのは、城下地区にはもう1園しか出来ない。できるだけ保護者の皆さんなり、地域のみんながすばらしい園が出来たねというようなものを是非作っていただきたい。加えて、現状は、2つの公立の施設がある。それが1つに減るのは、なんかもすごく残念な思いがするんです。</p> <p>これから、市の病院も城下地区に出来るということは決まって進んでいるようですし、将来の宍粟市を考えた時に、南部に人が集まってくる新しい動きができるんだろうなと思うんです。</p> <p>そんな中で、城下幼稚園跡は、建物としてもまだまだ使えるという、先ほども教育委員会の説明もあったんですけども、私はもともと小学校にお世話になってましたんで、その観点から、すごく思うんですが、宍粟市の中にも、残念ですけども学校に行きにくい子どもたち、いわゆる不登校と言われる子どもたちもいますし、それから、こんな田舎の町でも、児童の虐待の話、あるいは、先般議会の方でも、話題になったようですけども、ヤングケアラー、子どもながらに、障がいのある家族であったり、おじいちゃんおばあちゃんや、両親の面倒を見ないといけないというような、子どもたちの存在もある。その先には、引きこもりというような方も、この地域にもやっぱりかなり居られる。</p>

	<p>それから、この宍粟市では児童生徒の数は、どんどん少なくなっているように見えますね。でもそんな中で、例えば、学校に行けない子どもたちの数はどうなっているかというと、決して子どもたちの数に合わせて減っているような様子ではないことも聞いています。それで、こういう話は、実は全部つながっている。学校に行けない、虐待、ヤングケアラー、その延長線上に引きこもりというようなことは、この宍粟市全体の子どもたちを取り巻く大きな課題であると思うんです。</p> <p>ところが、それを横断的にみとるような施設が、私が知っている範囲ではないように思うんですが、教育委員会の皆さん、その認識で間違っていないでしょうか。</p> <p>もっと言えば、学校に行きにくい子どもたちのためのさつき学級というのが、山崎幼稚園に隣接してあったんですが、山崎幼稚園が現状、ご存じのような状況になっていますので、担当の先生なんかにお話を聞きますと、今は、菅野幼稚園を仮住まい的に運営しているということなんです。そういうような宍粟の課題を見た時に、もし城下幼稚園跡にそういうものを網羅した、国の方も、子ども庁なり、子ども家庭庁という話がありますが、そういう、ちょっと未来志向の中で、新しい提案が出来て、2つの公共の施設が残るのであれば、それは選択肢として、城下のみならず、宍粟市全体の皆さんにも喜んでいただけるんじゃないかなあ。何かそういうあたりで、折り合いを付けて、遺恨の残らないものが描けたらなあというふうに思っています。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。今、4人の委員の皆さんから、前回の討議を経て、付け足しであったり、あるいは熟慮した結果の意見、改めての変化も含めて意見表明であったりが出ている訳ですけれども、どうでしょう。</p> <p>まず、当分自由な意見交換にしたいと思うんですけれども、他の委員さんも含めてご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>度々すいません。建設費のことを少し考えた時にですね、建築費が違うんだというご説明を前々から聞いています。それで、先ほどの跡地をどうするかとかそういう活用のことを考えた時に、金額の差がですね、何か有効に使えるような形を考えるということも、1つの道かなと思います。</p> <p>城東保育所に建てて、城下幼稚園の跡地をですね、有効活用するというところで、そういうふうになると、予算的には浮くっていうたら失礼かもしれませんが、そういう予算がですね、負担が軽くなるということで、その予算をそういう生涯活動とか、先ほど、色々出ていますそういう設備のですね、プラスになるようなものに使っていただく方が、より宍粟市全体の教育事情も含めてですね、無駄にならないということかなと、先ほどから聞いて思うところです。以上です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。他、ご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>また、推進会議の時に戻るんですけど、その時に、なんせ民営化だったんです。市の教育委員会の方針が民営化だったんです。会議でずっと紛糾した</p>

	<p>んですよ公立でやってくれ言うて。ずっと3回ぐらい進まなかったんです。</p> <p>それで、資料をもらって見たらやっぱり、民営化した方が市の持ち出しが少ないんですよ。それを聞いたんです。こうでしょって。予算少ないからするんでしょって聞いたんです。その時、返ってきた言葉が、教育をお金で判断しないでくださいって。教育をお金で語らないでください。それは駄目ですよって。そうなんだ。お金かかってもちろんとした教育出来たらいいんですねっていう話だったんです。ですから、変な話、その予算の話は私は、教育はしたら駄目なのかなとずっと思ってたんですけど、最近聞くと、そっちの方が安いからっていうことを言われているようなんで、民営化の方が安いよっていう、市の負担が少ないよっていうことを言われているって聞いたら、変わったんだなと思って聞いてたんですけど、最初に言いましたように、城下幼稚園が休園になったら、仮園舎が要らないじゃないですか。更地にするのに。そしたら仮園舎代が浮きますよね。それから予算のことだけ言うと、安全性とかちょっと置いといてね。工期も短くなるんですよ。1年前倒し出来ます。そしたら、一緒のことじゃないですか。同じような条件になっちゃうんですよ。その安全性は置いといて、ちょっと置いといての話になるんですけど、予算とか、そういう工期も同じような状態になるんですよ。仮の話なんですけど、それと、前回、前々回からか、最初の時に、事務局が言われた、市道は市道だから、城東の辺りは市道だから予算が別だと。この前、予算じゃないっておっしゃったけど、総額で幾らになるんですか。聞きたいんですよ。</p> <p>じゃ、城東のところに建てた時に、どここの道を当然広げなきゃならないですよ。進入路もそう。それから、歩道も整備しなきゃならない。どの部分を広げて、どれだけの距離を広げて、予算的にはこれぐらいかかりますよっていう、そこも含めて言わないと、やっぱりこれ市のお金じゃないですか。幾らお金に色はないとはいえ、性格は違うとはいえ、やっぱり市の予算なんで、こども園を建てること自体は安いけど、その附属の工事が大きいですよでは、これはおかしいんじゃないのっていう話になりますが、その予算からいくとですよ。あと、例えばプールも整備したいなんていう話をされたとかって聞いたんですけど、それじゃ、それするんだったらそこも含めないと、これはフェアじゃないですもんね。ほら、教育はやっぱりお金のかかることなんだろうがないと思うけど、私はそうやって言われてきたんで、どうなんですかと聞きたいんです。</p>
<p>会長</p>	<p>今、意見と質問がありました。事務局。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。確かに教育のことをお金で語らないでくださいっていう言葉は、私も聞いたことがございます。その当時と、今ではちょっと変わってますので、そこはちょっとご理解をいただきたいんですけども、まず、前提として、この協議会の設置に当たりましては、二つの案を出させていただきました。当然、この協議会で出た意見は尊重しますということを約束しました。その延長線には、費用的にかかる部分が多い方が選ばれたとしても、それは問題ない。必要な予算は確保してとりかかるという覚悟で臨んでおりま</p>

	<p>す。</p> <p>もう一方で、城東保育所の周辺で、道路の改良を含めた予算についてなんですけれども、現時点では、城東保育所の跡地を保護者や職員の駐車場として整備をして活用したい。このことで、総経費の中の一部が浮きます。これは土地のお金を勘案してもかなりの金額になると積算をしています。</p> <p>一方で、その園舎をどこに建てるかっていうのは、地権者の方との交渉の範囲に入りますので、どこに建てるかはまだ決まっていませんので、当然、県道側に近いところで整備をすれば、道路の拡幅というのは短くなりますし、必要ない可能性もあります。</p> <p>一方で、城下幼稚園の方については、今の城下幼稚園の用地を使わせていただきたい。それは、圃場整備等の規制の中で、開発の区域として、今の幼稚園をとすることを提案させていただいています。そうしますと、当然、農道については、短くすることは出来ないので、必ず農道は市道のところから、幼稚園までの区間については、道路改良が必要だということで、この協議会に提案をさせていただいたということで。申し訳ないんですが、資料については、今、ご提出させていただいている資料の中で、判断をさせていただきたいということでもあります。</p> <p>それから、あと、1年前倒して仮園舎がなければ、早く建つかなっていうところなんですけれども、私どもとしましては、在園児さんが3月末に卒園をされてから取りかかりをさせていただきますので、どう見積もっても、そこから1年では、園舎の整備は難しいというふうに思っています。ですから、第1回目の協議会で説明をさせていただきましたが、期間につきましては、城下幼稚園を活用する際には、1年は、城東保育所より時間がかかるということについては、仮園舎がなくても変わらないというところでご理解をいただけたらと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。他に、今の意見を聞きながらでもよろしいですし、付け足しであったり、変化したというふうな意見表明をされる委員がありましたらお願いしたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。</p>
	<p>申し訳ないですけど、前回、他の委員さんは一応一度意見を述べていただいたんです。それで、議事録については、ご自宅に届いていると思うんで、読んでいただいたと思うんですけれども、指名して申し訳ないんですけれども、今、出していただけたらと思うんですけど。よろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。皆さんの意見を聞かせていただいて、議事録も読ませていただいたんですけど、私も病院の場所も城下地区の方に移転するということがあるので、やっぱり城下地区の方に人が集まってくるっていうのが、やっぱり大きくなっていうのは思っていて、それで、城の子公園もよく利用させてもらっているんで、私としては、城下幼稚園の方に、もし出来たらいいなっていうふうには思うんですけど、やっぱり、城東保育所の方にも、安全面であったり、城東保育所の方も考慮できるなっていうのが、私の中でもちょっと迷っているか、どっちも選び切れないなっていう気持ちも正直あるところではあるんですけど。</p>

会長	<p>他に付け足しなり、新たなご意見なり、ありましたらお願いしたいと思えます。まだ時間がありますので、どうでしょうか。もう他に、ここは言っておきたいというようなことはございませんか。</p>
副会長	<p>すいません失礼します。安全性のお話が出ているので、参考にといいいでもないですし、自分が今そういうデータを持っている訳ではないので、また、事務局の方で、その辺も考えていただけたらなと思うんですけど。</p> <p>何で見たのかがちょっと定かではないんですが、やっぱり人の数が増えれば事故の数は当然増えていくっていうところは、もちろんそれはデータとしても出ていて、ただ、その事故の内容を見ていった時に、事故には大小あると思うんですけど、重大事故って考えた時に、事故の数で見ると、人通りが多いところ、ただ重大事故の割合が多いのは、人通りが少ないところの方が、重大事故が起きやすいっていうのを少し見たことがあって、データを見たんですけど、今それがないので、調べてもらったらいいかなのと思うんですけど、そういう話をちょっと聞いたので、運転する人間の心理的にも、やっぱり人通りが少ないからっていう気の緩みじゃないですけど、車を運転する時に、そういう気の緩みとかっていうところがやっぱりそういう重大事故につながるっていうのを、少し本でも読んだことがあるので、安全性の確保っていうところは、かなり難しいなと思いながら、お話を聞かせてもらってました。事故の数、もちろん無い方がいいですし、どちらになっても、はっきり言って、事故っていうのは、誰も起こそうと思って起こすわけじゃないですし、起こりうることで、そうなった時に、大きな事故は怖いなと素直に思うんですけど、その辺ももちろんどちらになっても、事務局の方でも、安全性の確保っていうところを1番考えられていると思うので、ちょっと聞いた話だったので、今ふと思い出したので、そんな話もあったなというところの感想を述べさせていただきました。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。他に、付け足しなり言っておきたいことはないですか。</p>
委員	<p>私も前回、今回と、話を聞かせていただいて、先ほどおっしゃっていたように、やっぱりこう建物のね、活きた使い方がされるっていうのはとてもやっぱりこの宍粟市全体にとっていいことだなあって、今日は、はい。それを感じました。</p> <p>先ほど事務局からもね、こども食堂の話であるとか、ヤングケアラーの話であるとかもありましたけど、やっぱり、色んなことがつながっている今、この町として、本当に、何でしょうね、皆さんの温かい思いを込めた、本当に生きた子育ての環境を作るっていうところでは先ほどおっしゃっていた、お考えも本当に大きくなって今日はちょっと、そんなふうに思っています。</p> <p>1つ聞きたいんですけど、アンケートの中で、城東保育所さんの方にダンパーみたいな工事車両が多いかもみたいなコメントがあったので、もしその辺りどなたかご存知であれば、ちょっと状況を教えていただけたらと思います。</p>

会長	ご存知ですか。はいどうぞ。
委員	私もちょっとすいません。そのアンケートが気になったものでですね、あの周辺よく分かっているものでですね、大型車両は進入が出来ないようになっています。ですから、イメージとしては、生コンの大きな工場があるんですね。イメージとしては、大型のダンプカーが通っているように思われるかもしれませんが、城東保育所の周りにはですね、大型車が進入禁止ということになっていますので、私、ずっと住んでますけど、ダンプカーが走っているのは見たことはありません。はい。それ、イメージかなというふうに思います。
会長	よろしいでしょうか。事務局追加で何かありますか。今のでよろしいですか。はいどうぞ。
事務局	あれですね。県道を挟んで反対側に工場があるので、はい。そういうことだろうというふうに推察をします。
会長	はい。他にご意見、この際言っていただければありがたいと思うんですけどどうでしょうか。
委員	度々すみません。せっかくなんで言わせていただきます。 最初に宍粟市が、こども園のことを話し合った時に、何か作られた時にも、次は地域と協議するっていうのが前文に書かれていたと思うんです。 それが一時期消えていたりしたんで、あらっと思ったことも本当にあるんですけど、実際、城下地区に対しての説明会って、実質1回ぐらいじゃないですか。保護者説明会を入れたら2回、あるいは防災センターでやったのを入れたら3回とかになるんでしょうけど、地域の人に対する、やっぱり、コロナもあって、しょうがなかったのかもしれないんですけど、やっぱりその、説明不足は否めないかなあと思うんですよね。どうしても。それは多分、事務局の方も分かっているんじゃないかなと思うんです。 その中で、今回決めなきゃならないっていうのは、非常に心苦しいなということもあるんです。どちらかが潰れて、いやそっちでいいじゃないっていう話になっちゃうんですけど、皆さんがおっしゃるように、もう微妙なラインやとどっちになってもええやんっていうぐらいの、どっちになってもって話なんで、心苦しいなとは思いますが、もう、地元に対する説明は、決まった後でしかないっていうことでよろしいですか。
会長	事務局どうぞ。
事務局	はい。幼保一元化の、山崎町全体の計画をオープンにしたのは令和元年のことになります。それで、令和2年になりまして、10月の8日に自治会長会に進め方をご相談させていただいて、この後、保護者説明会をさせていただきたいと、その後、住民説明会へと説明の機会を持つ予定でありました。

	<p>ご存知のようにコロナもありまして、保護者説明会はさせていただいたんですけれども、そこで止まってしまったことは事実であります。</p> <p>地域の皆さんに住民説明会が聞きたかったという方もいらっしゃると思います。その中で、令和元年に示したり、令和2年度に教育委員会は、城東保育所周辺が望ましいのではないかとということで、案をお示しさせていただきました。そこで、8自治会から幼稚園が望ましいという声も届けていただきましたので、そういった中で、非常にコロナだけではないんですけれども、期間が空いた中で、教育委員会として、市が設置する協議会の中で、意見を十分に、7項目について、委員の皆さんに説明をさせていただいて、そのところで、色んな意見を出していただく中でという協議会の形を取らせていただきました。委員がおっしゃるように、保護者説明会の後に、住民説明会が出来ておれば、また住民説明会をして欲しかったというところにはお答え出来たのかなというふうに正直思っております。</p> <p>それで、そういった中で、時間が経過をしております。先ほど住民説明会のところでですけども、協議会の結果、このことについては規則の中で、協議会から教育委員会に報告をしていただくということになっておりますので、報告いただいた後に、今回は、場所のお話をさせていただきましたけれども、そのことについては、住民説明会を持ちまして報告をさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>よろしいですか。はい。他にご意見なり、質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>さっき副会長が言った重大な事故の起こる確率っていう中で、事故の確率が高い方が、車とほぼ子どもとかっていうのとかを考えると、確率が高い方がやっぱり気にするべきなんじゃないかなっていうところも私はあって、重大な事故っていうところも、それはもちろん大変なことなんですけど、人が増えて事故の確率が上がる。ただ、大したことないよっていうのは、またちょっと違うのかなっていうところもあります。なので、やっぱり安全性なりを1番に考えるところ。</p> <p>ただ、小中の連携が別にどうでもいいっていう話ではなく、私たちの時は全然なかったんです。時代的なもんなのか、行事ごとですらそういう連携っていう、一緒に遊んだりっていうようなこともなかったから、ただ、今の子はもうそれだけでもある。それだけでもと言うたらおかしいかな。そういうことが出来ている。プラスアルファを多分言っているとは思んですけど、それがあっても大分、私たちの時とは時代がもう変わって、良いことになっているんじゃないかなっていうところがあって、それは城東保育所のところに建っても、車の送り迎えでできるし、それ以上に、もうちょっと何かしましようとか、幼稚園の跡地っていうとあれやけど、そこを有効活用するんやったら、その時に一緒に遊びましようっていうようなことも、やっぱりできるんじゃないかなあっていう、けどやっぱり安全面をフォローするっていうか、ああいうふうなことをするってなると、すごい大変なんじゃないかなっていう、もし建ってね、やっぱり危ないなってなった時に、さあどうし</p>

<p>会長</p>	<p>よう。保護者が立ち当番とかするかって。それはそれで、やっぱり負担が大きくなってくるし、というところもあるから、小中連携が、そのプラスアルファを求めんと言うたらおかしいけど、その行事ごとだけでもあるだけでいいんじゃないかなってところが正直あります。</p> <p>はい。ありがとうございました。他にないでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、こういう委員に参加させていただいてですね、色々意見をお聞かせいただいて、非常に有意義だったと思っています。どちらに決まるということも、また大切なことではあるんですが、こういう機会に出させていただいて本当にありがたいなと思います。</p> <p>その中でですね、こういう^{けんけんがくがく}喧々諤々のお話を、本当に利害が全然ないのにですね、そこで一生懸命理解をし、自分たちの意見も持ちながら、話し合いをしていこうということで、非常に3回目ですね、今も胃が痛いですがけれども、その中で、私としては幼保一元化で、経営者としてということで最初にお話ししたとおりですね、やっぱり魅力あるまちづくり、魅力ある教育の在り方みたいな形でですね、それが何とか実現できればいいなというふうに思います。</p> <p>ただですね、ここでこれだけ^{けんけんがくがく}喧々諤々ですね、お話をしてて、事業主体がですね、どこになるか分かんないと。公立であればですね、私たちの声っていうのも、個々の声っていうのを反映していただけるのかとは思いますがけれども、これがやっぱり私立ってということが前提である限りですね、思ったようなことにならないようなことが起きた場合にですね、非常に悲しい結果になるのかなというふうに思います。それは事業主体さんが、やっぱり利益を出さないといかんということがやっぱりあると思います。その時に、経費をできるだけ削減しようみたいなことになるとは思いますし、そうやって誰もそれを反対する訳にもいかないというのも事実だと思うんですね。ですから、非常にやっぱりそういう不確かなことの、今この話をしているという、ちょっと矛盾を感じながらですね、ただ、将来に向けてやっぱり良くなってもらいたいということで、何とかその辺のことをですね、願っているなという感じなんです。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。今、教育の質の担保の話が出たんですけど事務局。</p>
<p>事務局</p>	<p>今現在も、宍粟市内には、公立の、こども未来課が所管する、保育所、こども園というのは、5園所ございます。</p> <p>一方で、私立と呼ばれる園は10園ございます。</p> <p>児童数にしても、私立に通われている子どもさんの方が多いのが現状としてあります。それで、経営というところなんですけれども、これは公定価格という国の単価で保障をされております。子ども1人当たりいくらという金額が、国が定めた価格でもって、宍粟市が民間の園に保育を委託するという</p>

	<p>ことになっております。何が言いたいかというと、職員の人件費を含めて、全て公費で賄われております。保育料は保護者が負担をします。0歳から3歳未満の子どもさんについては、保育料を宍粟市の方に納付していただきます。宍粟市が定めた保育料になります。それで、保護者の納められた保育料だけでは、当然、先生の人件費とか運営費が出ませんので、それを差し引いた足らずの部分は全て公費で全額負担を、園の方にお支払いさせていただいています。</p> <p>そういった意味で、最近総選挙があって内閣が替わりまして、保育士の処遇改善という話を報道でしていると思います。他産業に比べて、幼児教育保育に関わる先生の給与が低いということで、月額9000円程度、率にして3%程度の賃金アップをしようということで、今、国の方が補正予算を組んでおります。</p> <p>それが通りますと、全ての園に10分の10ですね、宍粟市を通じて、お金が出ますので、それが確実に先生の方へベースアップにつながるように、我々としては指導をさせていただきます。それで、要は、子どもが減っても、運営ができるように単価設定がされておりました、赤字運営というようなことの跳ね返りはないようになっています。仕組みとして。</p> <p>あとは教育の中身については、1年に1回は、教育委員会、宍粟市の職員が、ちゃんと計画どおりに、保育をされているかどうかというところの確認をします。それで、実際には県の職員と一緒に合同でやるんですけども、3年に1回ほどの周期にはなるんですけども、書類審査だけではなくて、実地検査もして、その保育の中身の確認をしています。</p> <p>保育の質の向上というところで、民間の先生も参加をされたキャリアアップ研修会ということで、大学の先生を招聘して、講義を聞いて、みんなで一緒に科目を持って、研修に取り組んでおりますので、その点では公立も私立も同じ仕組みということで、しっかりと教育委員会が、特に今回こども園の運営については、市の事業でありますので、公立私立に関わらず、しっかりとその部分を幼児教育・保育の質の保証ができる仕組みというのを考えてまいりますので、その点はお約束をさせていただきたいというふうに思います。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>魅力あるまちづくりっていう言い方をすると、漠然としちゃうんですけども、色んな自治体のことを、こういう機会があるんですね、どうも気になって、耳に入ってくるようになってくるんですが、教育、特にこの幼児の無償化とかですね、そういうようなことをされている、自治体もあってですね、子育てに優しいまちづくりっていうような形で、1番分かりやすいところだと思うんですけども、今回ちょっと違うかもしれませんけれども、市が徴収されているということですよね、そういうことの無償化みたいな、そういう構想っていうのはお持ちじゃないんですか。</p>
事務局	<p>幼児教育の無償化っていうのは、既に全国的に実施されておまして、3</p>

	<p>、4、5歳児については無償化を実施しています。</p> <p>それで、宍粟市につきましては、更に子育て支援ということで、国が定めた給食費、以前は保育料に給食費が含まれて設定されていたんですが、保育料が無償化になって、給食費だけ取り残されて、給食費は子どもが実際に食べるお金ですから、保護者から負担をするということが残ったんですけれども、月額で4500円の副食費と、施設が定める、大体の施設は主食費を500円と設定して、5000円になっているんですけれども、宍粟市の場合には、その半額、2500円は宍粟市が補助をさせていただいておりますので、ご紹介をさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。それでは、他にご意見ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>城下幼稚園の保護者の方に聞きたいんですけど、行事ごと以上にやっぱり小中学生と付き合いがないと、子どもって、何か、駄目ですか。</p> <p>何て言ったらいいか、ちょっと分からないんですけど、行事、私らの時は行事も何もなかったから、自分らは自分の体験として何もないから、育ってきたから、全然分からないんですけど、子どもも城下幼稚園じゃないから、見てきてないから、何も言わんのやけど、普段から、多分それは手を振ったりとかってというのはあると思うんですけど、行事ごとだけじゃ駄目ですかって話。それ以上にやっぱり求めて、小中の連携はそれ以上にもっと求めた方がいいっていうような、子どもってそんな感じなんかどうなんかなあと思って、ちょっと教えてほしいです。</p>
<p>会長</p>	<p>問いかけなんですけれども、できる範囲で結構です。</p>
<p>委員</p>	<p>私も小さい時に、小学校とか中学校との連携もなかったし、近くじゃなかったんで、そういうのは小さい時にやってきてなくて、自分の子どもが、城下幼稚園に入らせてもらって、何か関わるようになって、昨日も持って帰ってきた手紙を、それをまた大事そうに見てましてね。何かそういうふうなことを、もう日常的に、今もそれが普通というか、日常的にそういうのを、子どもがやっているのを見てきて、次また城東保育所の付近になったら、それがなくなるっていうのであれば、城下幼稚園の付近で、普通に今までどおり、先週も来てくれとってんかな、中学校のお兄ちゃんやお姉ちゃんたちがね。なんかもう普通に、また来てたんかと、そんなお知らせもないぐらい、もう日常的に来てて、何かプレゼントもらって帰ってきたりとかもしてるから、じゃ、あるとないとじゃある方がいいってだけで、そっちは、どれぐらいのペースであるのかってというのが分からないんですけど。</p>
<p>委員</p>	<p>城東保育所はないです。丸っきりないと思います。中学校ではあるんですけど、何回か、多分その何回かの行事が。</p>
<p>委員</p>	<p>うちの子どもたちのこと、就学前の子たちのことを考えて言うと、小学校とか中学校の子たちも連携がそういうふうなのが、日常的にあったのがなく</p>

<p>会長</p>	<p>なった場合は、その子たちも、どうなるんだろうなって思います。もしそっちの城東さんの方に建ったら、今までやってきた、その授業の一環としてやっているのかどうかは分からないけど、そういう交流はどうなるんかなって、今思いました。どうなるんですかね。</p> <p>私の経験も、今、述べさせていただいてよろしいですか。</p> <p>山崎小学校は、1年生に入ってくる園児たちが、8園から入って来ていました。段ちびっこえんであったり、くりのみ保育園であったり、旧山崎町内の園、合計8園でしたけれども、やっぱり交流という意味でいうと、幼児教育が行われている山崎幼稚園との交流が主体でした。</p> <p>他の保育園について、やっぱり教育という部分でなくて、保育というくくりがありますので、どうしても、段ちびっこえんさんや、くりのみ保育園さんたちは、プールを活用するには、度々、来ておられましたけれども、いよいよそういう児童と、園児との交流という意味合いでいえば、やっぱり、山崎幼稚園にかけられていたように記憶しています。記憶していますようにそういう形の交流を図っていました。</p> <p>ただ、今回、こども園が開園するに当たって、3歳4歳5歳の午前中の幼児教育だったり、保育を希望される同じ該当年齢の子どもたちも、午前中については、教育内容については、同じような方向で進まれるというのは、前回そもそも論で聞かせていただいたんですけれども、場所というよりも、教育というくくりの中で言えば、交流は、例えば城東がほとんどないという状態から、やっぱり幼児教育という部分で交流を行われるんじゃないかというふうには予測します。</p> <p>私自身の経験を踏まえ、それは、どうなるんでしょうかって、言われたことに、少し答えになるんじゃないかと思ったりします。事務局に補足をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>他の地域でもこども園の整備を進めてくる中で感じていることなんですけれども、小中学校との連携については、申し訳ないんですけど、主体的な視点が、小学校や中学校の方にあると思っています。</p> <p>中学生が、幼稚園児と触れ合うという視点で来てくれるから、城下幼稚園で交流が生まれていると思っています。ですから、こども園になった時に、先ほどから申し上げていますように、教育委員会が城下地区の幼児教育・保育施設として、こども園の整備をしますので、城下小学校、それから山崎南中学校の方が、交流先は新しいこども園というふうに認識をすれば、それは今の交流が続くというふうに考えております。また、そういうふうに教育委員会が、主体的にその間に入れるというふうに思っているということなんです。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。他にご意見ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>すいません先ほどの件なんですけど、連携は続くという形にはなると思うんですけど、どちらに建つからって差が出るっていうことではないですよ</p>

事務局	<p>ね。差は出ないっていうことでいいんですよね。</p> <p>はい。</p>
委員	<p>はい。それだけです。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他にないでしょうか。もう言い残したことはないですか。</p> <p>それでは、意見は尽くせたと判断します。</p> <p>(2)の協議会報告の内容について、ということで、まとめに入っていきたいと思いますがよろしいでしょうか。まとめについては、できれば委員の皆さんの総意で、こっち。こっち。ということがはっきりと判断できれば1番良かったんですけども、それぞれ今の状況で、各委員の意見が、前回から、意見表明もしていただいた中で、非常に拮抗していて、城下幼稚園、城東保育所、それぞれの方が、優位性があるというふうなことで拮抗しております。この協議会で最終的な候補地を決めることについて、色んな思いや考えがあると思うんですけども、どんな方法で意見をまとめていけばいいか、少し委員の皆さんに、こんな方法で意見を集めたらどうだろうかというふうな思いがございましたらお聞かせ願いたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ここでね、本当に前回から皆さんの意見を聞かせていただいて、条件も五十歩百歩じゃないのと、似たりよったりだなあと思っているんですけど、やっぱり皆さんの意見も割合、どっちっていう感じじゃないですか。</p> <p>出来たら私は、地域の皆さんにお聞きしたいんです。やっぱりそれは、代表として皆さん来られてるんですけど、城下に建つのであれば城下の皆さんのご意見を聞いてもいいのかなあと。それからちょっと、今回で決まらないかもしれないけれども、そういうことを聞いた上で、また、決めてもいいのかなあとは思うんですけど。それは市長に聞いた時にも、城下地区全部にアンケートを取ってくれてという話をした時にも、市長は、この協議会で、それが必要だっていう話になればやってくださいと。</p> <p>それで、住民の意見、住民の皆さんに決めてもらうのが1番いいんだとおっしゃっていたので、それだったら14人で決めるよりいいんじゃないかなと。どっちかいうたら公平性があるんじゃないかなと私は思っているんですけど、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>他に、どなたかご意見ございませんか。</p>
副会長	<p>すいません。質問なんですけど、小学校も色んなところで統廃合があったりしたじゃないですか。それで、ちょっと聞いた話で、やっぱり自分の地区で、住んでいる地区の小学校がなくなってしまう人が多いじゃないですけど、そっち側の小学校と一緒にってしまうっていうのは、もちろんそのなくなってしまった方の小学校の人たち、小学校の地区に住んでいる人たちって、色んな思いを感じとってだと思うんですけど、その統廃合とかっていうので、最終決定とかっていうのは、どんな決め方で決まっていくのかなあ</p>

事務局	<p>と。これに関しても、色々な思いが、この場だけでも出ているので、もちろん住んでいる方も、きっと色々な思いをされるんだろうなと思うので、その学校が今現在こうやって動いて、統廃合が進んでいるのは、どういう流れで、どういう決定でなっていくものなんですか。</p> <p>小学校学校規模適正化といいまして、児童集団が一定の、だんだん少子化になって、人数は少なくなってくるので、一定の集団化を確保しようということで、学校規模適正化の計画というものが基本計画としてあります。</p> <p>それで、近隣校が一緒になって1つになると、そこには新しい学校が生まれるんですけども、新しい学校の設置場所は、中学校に近いところの学校でということが基本としてありまして、その中で、それぞれ学校規模適正化が進んできました。それで、説明も、各地域でさせていただいたり、今まで学校があったのになくなるっていうのは、寂しい気持ちもそれぞれお持ちであったと思うんですけども、現実の児童数の減少も、よくよく知っておられて、自分たちの地域の子も、集団の中で学んだり遊んだり、友達と一緒にいたりすることを考えて、新しい設置場所に規模適正化実施後の学校にそれぞれ通っていただいております。以上です。</p>
会長	<p>よろしいですか。他に、また、意見のまとめ方について、ご意見ございませんか。</p>
委員	<p>度々申し訳ありません。城下にできるから城下地区で、住民の声を聞いてですね、アンケートなり取ってですね、するという非常に公平性があるように聞こえますし、多分それが民主主義としてはいいのかなと思います。</p> <p>ただ、市長がおっしゃることもですね、私は、ある意味無責任かなっていうふうにも聞こえます。行政が何を考えるかっていうことを、私はちょっとよく分かりませんが、あくまでも住民の中で、やっぱり1番いいと思われることを選んでくれるっていうふうに思いますし、いくら合理的ながらも、その根底のところは、教育委員会の方も、そこを大事に子どものためにということを考えていらっしゃると思います。そういう人たちが、ここの安全性など6項目ですね。そのところをしっかりと捉えて、考えていらっしゃるのと、ある意味民主的に思いますけれども、そういう住民アンケートみたいなを取るとですね、やっぱりどうしても先ほど、私、廃校になると寂しいとか、そういう感情論が入ってきてですね、要は、近くの方がいいということになりやすいだろうなと思います。そうなった時に、本当に適正なところを選んだのかという非常にそういう疑問がですね、どうしても城下地区の、やっぱり人口的なですね、比率がどうしてもやっぱり、城下幼稚園付近の方が圧倒的に人数が多く、簡単にそういうのを取るとですね、やっぱり近くの方がいいよねというのが、当たり前として通ってしまうと思います。</p> <p>それで本当に良かったのかとなった時に、先ほどの安全性のことをとってもですね、非常に怖いことが起きる。それをアンケートの中に本当にそう考えてされるかどうかっていうのは、非常に疑問な部分もあるので、ここで色々出てきたことをですね、最終的に教育委員会さん、及び市長さんがです</p>

	<p>ね、やっぱりきちっとした判断をされる。貴重なそういう時間で、皆さんから意見が出たということで、その意見を反映していただければいいのかなと。それと、できるだけ早く決定をしたいということ、城東保育所の関係者の方は切に願っている部分がありましてですね。ここで、しっかりと議論をしたことが、そもそもそういう時間的な制約もあってですね、やっていることだと思いますし、できれば色んなことが出てきたことですね、ご判断いただける方がいいのかなというふうに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。他に、この意見の取りまとめ方について、あるいは取りまとめについてのご意見はないですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。私も先ほどの案に賛成で、あと唯一私たちも、協議会として、出させてもらっているの、私たちの意見として多数決というのは難しいと思うので、投票なり何なり、みんなに見えない形にして、誰がどこで、どっちが多いって話ではなくて、どっちが何票。どっちが何票。だけでもなく、言ったら、アイデア的なだったりとか、私は城東に建ててほしいけど城下をそういう利活用してほしい。っていうような形をもうそのまま伝えてもらって、あとはそっちでっていう形の方が、一応、私たちの意見も、お伝えするっていう形の方が、形としてはきれいなのかなとは思いますが。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。他に。</p>
<p>委員</p>	<p>いや、おっしゃることはよく分かるんですけど、やっぱり3回だけ議論して、議論を尽くしたってということもやっぱり言えないと思うんですよね、正直な話。これはやっぱり1年とか時間をかけてやらないと、話が進まないし、そもそもやっぱり地域と協議するっていうのが、基本にうたってあるんで、それがない以上、この協議会を集めたからといって、やっぱりそこはちょっと考えていただかないと難しいのかなと思うんです。</p> <p>住民の意見が100%正しい訳でも当然ないです。それはもう私もよく分かります。ただ、ここにケツが決まっているからといって、1日も早くっていうのは、早くしなかったのは、これは市の責任ですよ。市が早くしなかった部分もある訳ですよ。何年間も開いた時期があるんですよ。</p> <p>そしていきなりぽんと出てきた、こども園を城下に建てます。なんて出てきた訳やから、その間に動いていけば済む話が結局ずるずる来て、いや早くしなきゃっていうのは、またこれ違う話ですよ。</p> <p>当然、じゃあどこに早く進まなかった原因があるのって言われれば、やっぱり行政がありますよ。私は責任あると思うんですよ。だから、今早くしなきゃならないからといって、議論を、これでいいじゃんっていう訳にはいかないと思います。</p> <p>1案として、じゃあ、住民の皆さんに聞いたらどうですかっていうのは出したんですけど、確におっしゃるとおり、民主主義的には公平に見えるけれども、それは、感情が入ったりとか、色んなことがあって、ちゃんと説明して、アンケートを取ったって、それは正しい答えが返ってくるとは思って</p>

	<p>いません。だからこそ、住民との協議が必要じゃないかなと思うんです。だからその時間がない。ないんであれば、やっぱりちょっと決めるのには拙速<small>せつそく</small>なのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。他に。</p>
<p>委員</p>	<p>度々すみません申し訳ありません。</p> <p>行政の責任というところというのはあるんだと思います。ただ、それをですね、責任があるから先送りというかですね、もっと議論を尽くすべきだという話をここでやっていてもですね、被害にあうのは、今の園児であってですね。全くそういう意味でいうと、この大人の、なぜかこういうどっちがいいかという議論でですね、決められないというようなことは避けた方がいいんじゃないかと思います。</p> <p>ですから、会を開いた、最初の趣旨に戻ってですね、この会議の意見を尊重して、行政側で決めるということは、やっぱりしっかりとさせていただきたいし、そのことを言えないからですね、ここまで延びているというふうに思いますので、しっかりですね、その辺のことを言っていただきたいなど。逃げずにですね。やっていただきたいなど、これだけ住民が誰も憎くてこんなことを言っている訳でもないし、何の反対をしている利害関係があってしている訳でもないっていうのは、これも前提で、困るのはやっぱり、今、幼保一元化という形で待たされている園児たちがそこにいてですね、それはもうはっきりと、やっぱり早く、私は時間軸を大切にさせていただきたいし、それを決められない行政ということに、責任があると思いますので、この会をこれだけ時間費やしてですね、協議したことを無にするようなことはしていただきたくないなというふうに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。他にご意見があればお願いします。</p> <p>取りまとめ方で、今、大きく二つの意見に分かれているんですけども、一応、この協議会として意見を求めて、委員さんから、ほぼ協議会の柱である2か所について、どちらかに候補地を決定するという、この協議会の本意からしますと、既に意見はかなり出尽くしたと思っています。</p> <p>その上で、協議会としてのやっぱり、何らかのまとめは必要でないかと思います。</p> <p>方法について、挙手するとかそういう形じゃなくて、ある程度、意見が出せるもう少し柔らかな方法はないだろうかというような意見もあったんですけども、どうでしょうか。何か良い方法は思い付かれますか。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。まとめ方の妙案はないように思うんですが、基本的に言えば、私は城下幼稚園跡、全く反対でも何でもありません。もう、言われる方の思いというのはなるほどそういうことかという形で聞き入れることができる。そのことが結論を、この会は候補地について、1回目の最初に、教育委員会の方からも決めてほしいということで、3回というの、十分かどうかということについても、もう疑念は同じく同感です。</p>

	<p>ただ、少ない多いはともかく、テーマを絞って、3回集まって、この14名で今、それぞれ意見も述べあった中で、1つに答えを集約するっていうことは難しいようなんです。</p> <p>立場の違いもはっきり分かりましたし、むしろ大事なのは、その根拠、皆さんが安全面であるとか、利便性であるとか、色んな視点から、100年や1000年に1回の災害に備えてっていう話も、1回目にしていただきましたし、色んな角度から出たその意見をくっつけて、それも附帯できちっと明記してもらおう形で、何らかの、この会の総意みたいなのが、数だけではなく、1つのまとめとして、こういう意見なり、こういう方向性の集約のようなことでね、取りあえずもう一遍、何もなしでさらきにいうことは、当初1回目が始まった時の説明にはそれはなかったと思うんです。ですからそれを、どのように今後、行政の方として、活かしていただくか。いわゆる責任ある立場の皆さんの判断も、委ねなければいけないのかなと思うんですが、この会として、何らかのまとめはしたいなと思います。できれば緩やかに。</p>
会長	<p>はい。どうですか。事務局の方で何か、意見集約の方法等、案はありますか。</p>
事務局	<p>この会を始める前に、私ども事務局として考えておりましたのは、2つの進め方を考えておりました。もちろんですが採決に至らずに、ここの場で、みんなで決めていただくというのが1番きれいな形なんですけれども。</p> <p>1つは、投票によってどちらかを決するという方法で、もう1つは、先ほどお話があったと思うんですが、協議会としての最終的な結論には至りませんが、各委員の意向を確認する方法を考えております。</p> <p>城下幼稚園周辺と城東保育所周辺の他に、1、2の一方に決めかねる。というようなことの項目を追加しまして、3つの選択肢の中で選んでいただいて、それぞれ、なぜそう判断したのか、理由をお聞かせいただけたらというふうに思っております。</p> <p>事務局の方で、集計をさせていただきまして、それをもとに、以後、会長さんと協議の上で報告書という形で取りまとめをさせていただいて、教育委員会に報告するという案を考えております。この方法について、ご提案をさせていただきたいと思います。</p> <p>すいません。先ほど会長さんにご相談の上でと申し上げましたが、それは、案を作る作業についてでありまして、当然のことながら、それで、この全体の意見としてふさわしいかどうかについては、個々の皆さんのご意見をお伺いした上で、ご承認いただいたものを、報告書として採用するというのを申し添えます。</p>
会長	<p>今、2つのプランを事務局の方から示していただきました。いかがでしょう。初めの提案が採決ですね。2つ目が3つの中から選択して理由付けで、書面を作るっていう方法。どちらがよろしいですか。もし他に方法があればまたおっしゃっていただきたいんですけど。</p>

委員	先ほど意向を確認して、3つの中からってというのがあったじゃないですか。そのどちらとも決めかねるってというのは、どうとらえるんですか。もうそのまま言葉のとおり、棄権でもなく、権利放棄でもなく、例えば全員がどちらとも決めかねるってなると、もう分からないですよ。理由付けは書くということですね。
会長	もしそうなれば、理由付けで、多分、もうお手上げやと言う意見が、あるとすればあるかもしれませんが、こっちとこっちには、それぞれの良さがあって、どちらとも決めかねるというようなことが、委員さんの意見の中に出てくるかもしれませんが、前回と違ったってということをおっしゃってましたしね。それぞれ色々な思いを持たれているんじゃないかと思うんですけども。
委員	今日、1名委員が休みなので、この場で採決はやっぱりちょっと難しいですよ。
会長	採決ということになれば、欠席者があれば、参加されている委員の皆さんの中で、過半数以上の採決ということもあるんですけども、できれば採決という形は、私自身も進行しながら、あまり取りたくないなというふうには思っているんです。どうでしょうか第2案で示された事務局の方法で、一応意見の取りまとめとする方法でよろしいですか。ご異議ございませんか。 申し訳ないです。今、9時を過ぎたんです。今日に限って、申し訳ないですけど、10分なり、もしかしたら15分になるかもしれませんが、ちょっと延長させてください。非常に申し訳ないですけど、それをご理解いただけますか。 それでは、事務局の方、今の方法で何か出来ますか。
事務局	[事務局から記入用紙の準備は出来ています。の声あり] はい。それでは用紙を配らせていただきます。 氏名のことについて、協議会としての意見の取りまとめには使わせていただきますが、それ以外のことには使いませんので、当然、氏名が公表されるというようなことはございませんので、出来ましたら私どもには、記名をしていただいて、教えていただけたら、ご意見として参考とさせていただきます。と思っております。 [事務局が意見の取りまとめ用紙を配布した後、出席委員13名は、用紙に意向及び意見を記入し、用紙回収を行った。]
会長	全ての委員の皆さんの集約が終わりました。この取り扱いについて事務局、どんなプランがありますか。
事務局	大変時間が押しているんですけども、やはり皆さんこの場で書いていた

	<p>だきましたので、もちろんだなたが何を書かれたかというのは伏せさせていただきます、それぞれ1、2、3を選んだ数のところと、それから理由をですね、発表させていただきます、お帰りいただいた方が、皆さんもどのような意見が出ているのかということが分かると思いますので、そのようにさせていただきますたらと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>どうでしょう。時間が、今、言いましたように15分ほどって言ったのが、もう20分になっているんですけど、もう少しご辛抱いただけますか。</p> <p>進行のまずさで申し訳ないんですけども、そして、意見を出していただいたのを、公明正大<small>こうめいせいだい</small>にしたいと思いますので、事務局の提案でよろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、1名委員が欠席なんですけれども、もし、投票という形であれば当然欠席者は数に入らないというふうに考えておりますが、意見ということで、後日、明日ですけれども、ご案内して、同じ用紙に意見を聞かせていただいて、1点そこへ追加をするということは、ご承諾いただけますでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>いかがでしょうか。よろしいですか。はい。それではそのように、うなずきがありますのでお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>失礼します。意見も発表ということでよろしいですか。それでは、順不同ではありますが、読み上げをさせていただきます。</p> <p>まず、数のところから発表させていただきます。</p> <p>城下幼稚園5票、城東保育所7票、その他は0、無記入が1票ありました。合計が13票になっております。</p> <p>それでは、ご意見のところを読ませていただきたいと思います。</p> <p>●議題にも上がっていた安全性の高い城東を、連携の多い、幼稚園、今日、説明があった、どちらに建っても連携の差はない。との意見から城東保育所周辺が望ましいと考えます。城下幼稚園には定期的に、子どもたちも行き、小・中学生、地域の方、保育所等に行かれていない方などの、みんなの場の活用を希望します。</p> <p>次に、●子どもを城下幼稚園へ入れているので、城東保育所の安全性や利便性などが分からないので、城東保育所周辺の選択が難しいです。</p> <p>城下幼稚園へ通わせ、送迎などで危ないと思ったことはなく、今後100人増えたとしても、バスなどの送迎もあると思います。</p> <p>小、中との連携を取ることは、今の少子化にとって大切なものと思います子どもの感性を育てる、質の良い教育を求めます。</p> <p>次に、●1番は安全性。どちらも0%ではないが、リスクが高い方に建てる必要はない。城東の古さを考えると早い方がいい。園児が行くところなくなる。連携は大事だけれど日常まで必要か分からない。</p>

次に、●利便性、連携の観点から考えると、やはり城下幼稚園周辺であると考えます。子どもの健やかな成長を1番に考え、小中との連携は、近くにいるというのが1番だとか考えます。安全性については設置するに当たって、徹底的に行ってほしいと思います。

次に、●跡地活用、経費も少なく効果が期待できる、安全性、早期着工、利便性、経費の面で勝っている。小中連携については城東城下どちらも可能と考える。

次に、●通学路の安全性が城下小学校周辺では担保出来ない。安全性に重大な問題があると思われる。跡地活用、城下幼稚園はまだ使用できる新しい施設であり、様々な活用を考えられ、宍粟市全体の教育、学習の場として取り組んでもらいたい。

次に、●安全面では、気になることもありますが、どちらの周辺になっても、きちんと整備していただけるので、安全面を除くと、小学校中学校との日常的な交流もあり、小学校中学校にも良い影響があると感じました。たくさんの方に良い影響がある場所に建ててほしいです。

次に、●小中との交流のしやすさは、他の地区の学校や他にはない良い面だと思うので、立地を生かしてほしい、城下幼稚園跡地の利用についても、余り良いようには思わなかったもので、教育保育の場であれば良いと思う。さつき学級では、学校が近過ぎる。グループ子育て活動は、少なくなっているのでは。

次に、●子育て支援の場があればいいと思うので、城下幼稚園の跡を活用してほしい。いちのびあのように、土日も開いているといいです。

次に、●新こども園は城東保育所周辺でいいと思う。ただし城下幼稚園は今後、宍粟市の子育て支援の拠点として、市民の思いに、より一層、ビジョンを示してほしい。どちらの候補地に決まっても、安全面の課題はたくさん残されていると思う。

次に、●安全性の確保が絶対条件であります。小中との連携など児童の生徒への好影響の状況を考えると、小中付近が教育の面からも好ましい立地であると考えます。地域住民も、長年教育の中心地であると認識している以上、他の場所は考えられません。

次に、●現在ある施設が、更に良い活用がされることを大いに期待します。宍粟市全体のメリットにつながることを信じて、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、●今後、人が多く集まると予測される城下幼稚園周辺が望ましいと考えられます。人が多く集まると、現在行われている小中学校との連携だけでなく、地域の方々との交流も増えるのではないかと期待出来ます。高齢化が進む中のため、地域の高齢の方々にとっても、小さな子どもたちとの交流は、良い機会になるのではないかと考えます。私の子どもは城の子公園がとっても好きなので、近くにあるのはやはり魅力的であり、広い公園などで、のびのび遊ぶことで、子どもたちの更なる成長も期待できるのではないかと考えます。しかし、やはり小中学校が近い分、登園、登校時の事故のリスクは高いと考えます。的確な安全対策を十分にとっていただけるようお願い

<p>会長</p>	<p>申し上げます。と、いうことで、以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。ありがとうございました。貴重なご意見といたしますか、最終的な意見集約をしていただきました。この扱いについて、事務局どういうふうにお考えでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。先ほど、聞かせていただきまして本当に真剣に取り組んで、お考えをいただいて、私たちが説明をさせていただいた幼児教育・保育の重要性というのをよく理解していただいて、その上でご判断いただいたということがよくわかります。それで、この取扱なんですけど、この後、私どもの方で取りまとめをさせていただいて、協議会の報告書という形で、作らせていただきまして、先ほど申し上げましたが会長にご確認をいただいた後に、それぞれ各委員さんの方にも送らせていただきまして、会議録と同じように、これで間違いがないという確認を取らせていただいた上で、正式な報告書として、受付をさせていただきまして、第1回目の協議会で説明をさせていただいたと思いますが、地域の意見として、教育委員会へ報告をするという役割でございます。</p> <p>教育委員会に責任を持って伝えさせていただきまして、最終的な判断は、教育委員会、そして市の方で判断をさせていただくこととなります。</p> <p>議会の承認というようなことも含めまして、手続きを取らせていただきまして、本日、本当に地域の説明会とかのご意見もいただく中で、できるだけ早くという思いがあったらというふうに思いますので、しっかりと、今いただいたたくさんの意見が、しっかりとこども園に反映できるように、事務局として責任を持って取り組みたいと思っておりますので、その点、これからまた、地域の保護者や、地域の皆さんには、ご理解をいただくことになろうかと思っておりますので、そういう点では、引き続きご理解とご支援をお願いして、報告書を作らせていただくという手続きについての説明とさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。今後の取扱について、事務局提案がありました。そういう方向で進ませていただいてよろしいですね。</p> <p>それでは、ここで、これまで3回の協議会にオブザーバーとして、お2人の自治会長に見守っていただいております。一言いただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>自治会長</p>	<p>皆さん、3回に亘って、また長時間、色んなご意見を出されて本当にありがとうございました。自治会長会で何回かお話を受けて、自治会長の集まりで意見を交わしても、実際に保護者の親御さんの意見というのはほとんど分からないと、冒頭の挨拶で申し上げましたように、自治会長会としては、少なくともその子育ての事情がよく分かっていない人間が議論をしても仕方ないだろうということで、ニュートラルの立場で皆さんの意見ができるだけ出せるように、市としても動いていただきたいと、私もこの協議会3回出席させていただいて、なるほどなという意見が非常に多く聞けてありがたかった</p>

<p>自治会長</p>	<p>なあと。今後、どちらに決まるにせよ自治会としては、当然、園の周りの安全性確保のための色々な事業も含めて、できる限りのところを協力させていただき対応をしていきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>失礼します。3回の協議会に参加いただいて、そして、皆さん一人一人の意見を聞かせていただいて、それぞれに感謝申し上げたいと思います。</p> <p>私、家でよくニュースを見るんですけども、今日も、東京台東区浅草で不法占拠の問題がありまして、区は、以前から出店の立ち退きを求めているんですが、今まで、そこで長年、店を出している方と争っていて、結局、法的措置という形になりそうだということがニュースになっていて、それをみて、この幼保一元化の問題で、城下地区が二つに割れるようになると困るなあと。そういう思いを持っておりました。</p> <p>そういう中で、今日、こういった形で、それぞれの委員の皆さんの思いを意見としてまとめていただきまして、後は、先ほど説明があったように、事務局の方でまとめていただけるということで、ほっとしております。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。その他、事務局から何かありましたらお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>発言せずに、ご意見をお聞かせいただくばかりの会になりましたが、一言だけお礼申し上げます。皆さんから意見を出していただいて、教育行政の第一義的な責任を負う者として、大変反省すべきことがたくさんありました。</p> <p>その1つは、やはり令和元年にこの案を示させていただいて以降、早く進まなかった原因というものをきちっと検証すべきだろうと私自身も反省に立ちます。</p> <p>そしてまた、逃げずに主体的に判断せよという非常に厳しいお言葉もいただきました。</p> <p>子どもを第一義に考えてきた私たちであります、1つの要因にコロナ禍というものがあったかもしれませんが、この間時間を要したこと、誠に申し訳ございません。</p> <p>そうした中、協議会で望ましい候補地の選定をお願いしたいという難しい問題を皆様方をお願いしました。</p> <p>そこに、多くの方に応募いただき、公募委員として城下地区のこども園の実現に向けて、建設的な意見を述べていただいた。しかし、反省すべき点は、公募委員の選定手続にあたり、第1回協議会の冒頭で謝罪しましたように、事務局として不備な点があったこと、改めて、応募していただいた皆様、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでございます。</p> <p>しかし委員の皆様方には、この間、今後の幼児教育保育のこと、本来ならば、今日の意見の途中でもありましたが、こんな突粟の教育を、こんな保育を実現するために、こんなこども園を作りたい、そのためには、どんな候補地が良いという、セットの話なんだろうと思っておりますが、このたびは、時間的</p>

<p>会長</p>	<p>なこともありまして、候補地の選定ということで、ご意見をいただくことになりました。皆様方には、3日間、3回にわたりまして、貴重な時間をいただき、貴重なご意見をいただいたこと、今後の宍粟市の幼保一元化推進に必ず、生かしてまいることをお約束申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p> <p>はい。それではこれで全ての協議が終了しました。皆さん最後まで真摯な意見交換、及び、大変難しい判断でしたが、色んなご意見を出していただきありがとうございました。あとは事務局の方で、これまでの協議会で今、出していただいた意見を取りまとめて、協議会の一つの意見として、教育委員会へ出していただくことにしたいと思います。</p> <p>いずれにしましても、保護者にとって、安心して安全な子どもを預けられる保育環境と、子どもにとって、小学校での学びにつながる幼児教育、保育が提供できるこども園を整備していただくことを改めて切に教育委員会にお願いして、結びにしたいと思います。時間30分以上延長して、申し訳ありませんでした。これでこの協議会終了とさせていただきます。ありがとうございました。最後に、副会長から閉会をお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>失礼します。全3回の協議会となりましたが、たくさんの意見が出た会であったと思います。この意見は、やっぱり皆様の思いであると思いますので、先ほど教育長も約束してくださいましたが、教育委員会にはこの意見を、大切に扱っていただき、最終の決定をしていただきたいなというふうに思っています。先ほど会長がおっしゃいました、終了時、予定時刻を過ぎてしまいましたが、それも、子どもについて、皆さんで本気で考えた結果であると思いますので、とても有意義な協議会ではあったのではないかなというふうに思っています。</p> <p>皆様遅くまでお疲れさまでした。</p> <p>閉 会</p>